

エネルギーの新聞

地球を守るために私たちができること

はじめに

今年は異常気象と言われ、夏に突然雨が降り、雷がなり、停電に、たりすることがありました。その突然の雨や雷、停電は、地球温暖化が関係していると思われました。停電すると、夏にない夏の危険を感じているエアコンも止まってしまうので、その時のエネルギーについて気になり、調べることにしました。

エネルギーとは

エネルギーとはもの動き、熱や光を出すために必要なものをいいます。SDGsの目標7は、地球にやさしいエネルギーをみんなが使えようという意味がこめられています。

目標7について

私たちは、再生可能エネルギーについて理解を深めたり、電気をこまめに消したり、エアコンの温度を上げすぎないなど工夫をする必要があります。

再生可能エネルギー

水力発電、風力発電、バイオマス発電、太陽光発電、地熱発電などの再生可能エネルギーは人間が使っても

発行者 5年 1組 3番

池谷 榎大示

資源を再生できるので、資源がなくなる心配がなく、二酸化炭素の排出が少ないので、環境にやさしいです。

再生可能エネルギーのメリット

- 環境にやさしい
- 資源が豊富
- 二酸化炭素の排出が少ない

再生可能エネルギーとは

化石エネルギーとされる、石油、石炭、天然ガスなどは、資源に限りがあり、今のままのスピードで使い続けると、百年後には資源がなくなってしまうと推測されています。また、二酸化炭素の排出は、温室効果をもたらす、地球温暖化、気候変動を引き起こすので、食料不足につながる可能性があります。

温室効果

温室効果とは、赤外線を吸収し、再び放出する熱として、大気に蓄積されることです。

地球の表面温度はマイナス十九度になつてしまつたと言われています。温室効果があることで、地球の表面温度は十四度に保たれています。

温室効果

十八世紀後半から産業革命に伴い、人類はエネルギーをたくさん消費するようになりました。エネルギーを消費するために、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料を消費しています。

化石燃料

世界には電気が使えない人が十億人以上います

世界には電気が使えない人が十億人以上います。電気を使えない人は、生活に不便を感じています。インドやパキスタン、アフリカ、南米などの地域は、電気通達率が低く、電化人口の九割以上を占めています。

電気が使えない

紛争と電気

紛争が起ると、電気供給が中断されることがあります。紛争が起ると、学校に通えず、教育を受けられず、生活に困ります。

紛争と電気

紛争と電気

紛争と電気

紛争と電気

得られないのは、電気やインターネットが使えないのは、おかしなことです。私には思いません。

解決方法

解決方法は、分散型オフグリッド発電、マイクログリッド、太陽光発電などです。

分散型オフグリッド発電

分散型オフグリッド発電は、電力網に接続せずに、地域ごとに発電機を設置して電力を生産する方法です。

まとめ

私たちがふたん何気なく使っているエネルギーは、使うことで地球環境を悪化させています。人間だけではなく、動物にも悪影響を与えています。エネルギーを使いながらも、使えない状況をおかさない人もたくさんいます。すでに国連サミットは行動していますが、また全世界に行きわたらなければならないと思います。

編集後記

異常気象は地球温暖化が関係している、その地球温暖化は人間がエネルギーを使っていることで、二酸化炭素の排出によるものです。地球温暖化を進行させるために、エネルギーをたくさん使っています。